

新技術・情報名	サマーフレッシュの適正葉果比と果実品質		
実施場所	三重県農業技術センター・紀勢ロイヤルビレッジ	分類	※①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

- (1) 新品種のため葉果比と果実品質、翌年の着果量について検討し摘果基準を設定した。
- (2) 葉果比100以上で果実発育は優れるが、果実内容は葉果比50~150の間で大差がオラれない。
- (3) 葉果比と次年の着果の関係は、前年の葉果比が大きい程次年の着果数も多く、8月の着果率が高かった。
- (4) 以上からみて適正葉果比は100程度が適当である。

2) 技術・情報の適用効果

摘果による品質向上と隔年結果防止効果が期待できる

3) 適用範囲

サマーフレッシュの栽培地域

4) 普及指導上の留意点

本品種は隔年結果がやや強いので6月せん定後直ちに摘果するのがよく、葉果比は若木で150、成木で100程度を基準とする。

2. 具体的データ

表1. 葉果比と果実発育(横径mm)(558~59)

時期 葉果比	558				559							
	7/26	8/24	9/26	10/24	11/25	12/26	1/6	2/22	3/24	4/23	5/23	6/27
50	59.7	69.1	84.1	90.4	94.2	93.6	93.3	91.3	92.4	98.1	102.7	106.5
100	53.5	70.7	84.3	92.7	96.5	95.8	96.1	93.8	95.3	98.4	103.1	108.0
150	55.5	71.9	84.4	91.5	95.8	95.8	95.1	94.1	94.4	99.0	102.5	107.3

表2. 前年の葉果比と当年の着果数(559)

葉果比	50	100	150
着果数 6/5日	86	114	100
8/22	19	31	37
着果率 8/6日	22.1	27.2	37.0

表3. 葉果比と果実品質(558.6.1)

項目 葉果比	果重	果形 指数	果実 比重	果肉 割合	果皮色	果肉色	BX	TIN 酸
50	358 <sup>g</sup>	128	0.75	63.1%	5.1	1.4	11.0	1.74
100	406	129	0.76	63.6	5.1	1.4	11.2	1.86
150	431	130	0.77	63.8	5.1	1.4	11.3	1.78

3. その他特記事項

極晩柑サマーフレッシュ栽培技術の確立 57~60年総合助成